

## 資料4 三遠南信地域の人財育成の状況

1. 三遠南信地域の産業別就業者数
2. 三遠南信地域の労働力人口の推移
3. 三遠南信地域の学生数と就職状況
4. 地域企業の大学教育への期待
5. 地域企業の地域大学への期待
6. 地域企業のインターンシップへの協力可能性

### (参考)

- ①大学・経済界との人財開発セミナーの実施
- ②パイロットプログラムの実施
- ③三遠南信地域社会雇用創造事業(内閣府)の実施
- ④地域企業のインターンシップ受入について
- ⑤三遠南信地域の大学におけるインターンシップの実施状況

# 1. 三遠南信地域の産業別就業者数

・農林業及び製造業に従事する就業者比率は、全国よりも上回っている。

産業分類	全国		三遠南信地域		東三河地域		遠州地域		南信州地域	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
農業, 林業	2,204,530	3.7%	80,157	6.6%	30,969	7.8%	33,389	4.9%	15,799	11.1%
漁業	176,885	0.3%	2,380	0.2%	794	0.2%	1,548	0.2%	38	0.0%
鉱業, 採石業, 砂利採取業	22,152	0.0%	497	0.0%	172	0.0%	203	0.0%	122	0.1%
建設業	4,474,946	7.5%	87,297	7.2%	28,179	7.1%	47,578	7.0%	11,540	8.1%
製造業	9,626,184	16.1%	344,666	28.3%	106,227	26.8%	204,857	30.2%	33,582	23.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	284,473	0.5%	4,861	0.4%	1,518	0.4%	2,677	0.4%	666	0.5%
情報通信業	1,626,714	2.7%	10,243	0.8%	3,029	0.8%	6,362	0.9%	852	0.6%
運輸業, 郵便業	3,219,050	5.4%	57,736	4.7%	17,499	4.4%	35,539	5.2%	4,698	3.3%
卸売業, 小売業	9,804,290	16.4%	177,642	14.6%	56,386	14.2%	101,928	15.0%	19,328	13.6%
金融業, 保険業	1,512,975	2.5%	21,609	1.8%	7,049	1.8%	12,223	1.8%	2,337	1.6%
不動産業, 物品賃貸業	1,113,768	1.9%	12,664	1.0%	3,976	1.0%	7,872	1.2%	816	0.6%
学術研究, 専門・技術サービス業	1,902,215	3.2%	27,396	2.3%	8,124	2.1%	16,150	2.4%	3,122	2.2%
宿泊業, 飲食サービス業	3,423,208	5.7%	62,254	5.1%	20,679	5.2%	34,300	5.1%	7,275	5.1%
生活関連サービス業, 娯楽業	2,198,515	3.7%	41,883	3.4%	13,837	3.5%	23,375	3.4%	4,671	3.3%
教育, 学習支援業	2,635,120	4.4%	45,979	3.8%	14,209	3.6%	26,476	3.9%	5,294	3.7%
医療, 福祉	6,127,782	10.3%	104,763	8.6%	32,143	8.1%	57,367	8.5%	15,253	10.7%
複合サービス事業	376,986	0.6%	9,128	0.8%	2,901	0.7%	4,541	0.7%	1,686	1.2%
サービス業(他に分類されないもの)	3,405,092	5.7%	51,607	4.2%	16,708	4.2%	29,549	4.4%	5,350	3.8%
公務(他に分類されるものを除く)	2,016,128	3.4%	30,448	2.5%	9,752	2.5%	16,971	2.5%	3,725	2.6%
分類不能の産業	3,460,298	5.8%	42,981	3.5%	21,875	5.5%	15,027	2.2%	6,079	4.3%
合計	59,611,311	100%	1,216,191	100%	396,026	100%	677,932	100%	142,233	100%

平成22年国勢調査 産業等基本集計(労働力状態, 就業者の産業など)より作成。

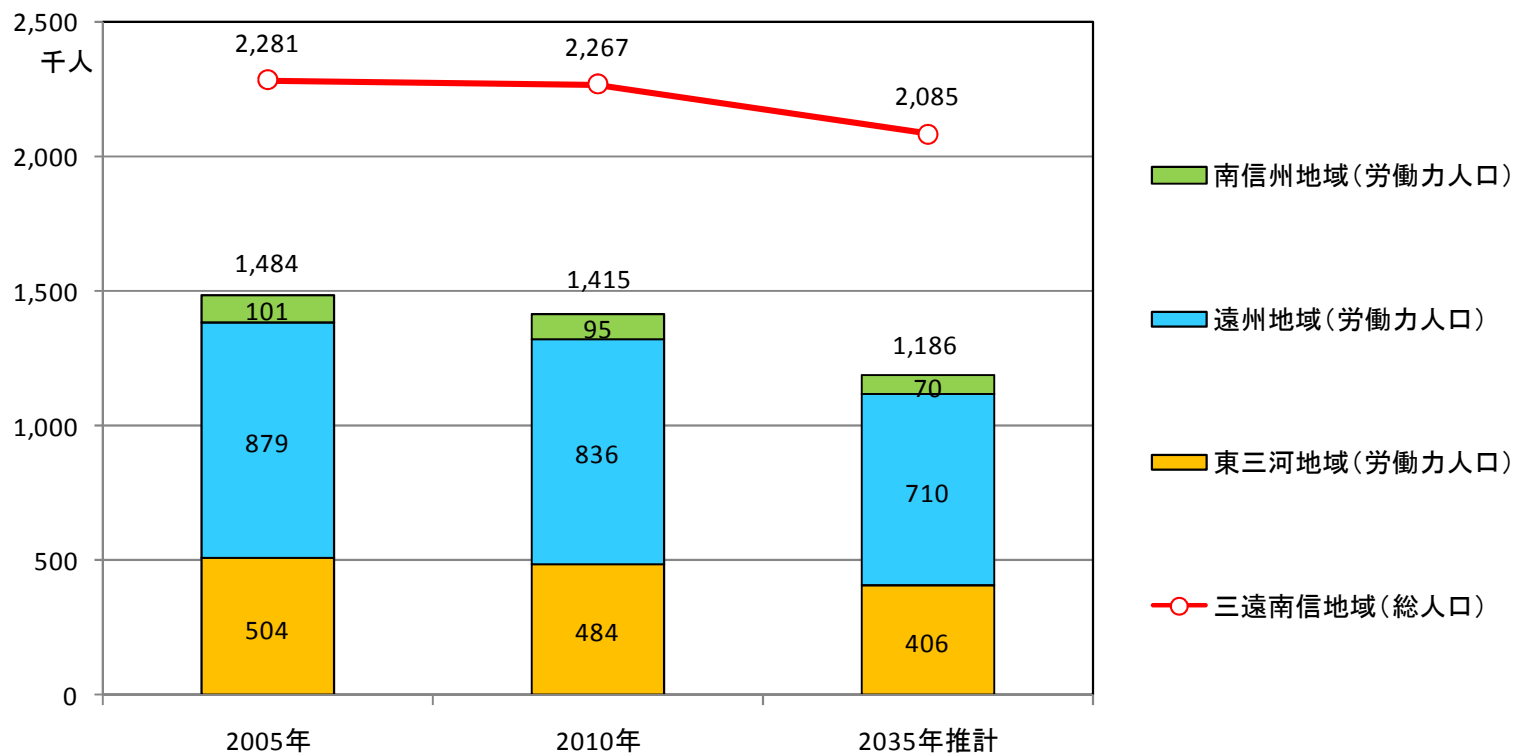
東三河地域: 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

遠州地域: 浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町

南信州地域: 飯田市、伊那市、駒ヶ根市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

## 2. 三遠南信地域の労働力人口の推移

- ・我が国の人口は2010年～2035年にかけて、約128百万人から約114百万人(▲14百万人)になり、2050年には約1億人になると予想される中で、労働力人口は2010年～2035年にかけて約18百万人減少し、人口減少数(▲14百万人)よりも大きい。
- ・三遠南信地域の人口は、2010～2035年にかけて約18万人減少するのに対して、労働力人口は約23万人減少し、労働力不足が懸念される。



出典：国勢調査（総務省）、日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

### 3. 三遠南信地域の学生数と就職状況

#### 【三遠南信地域の16大学】

##### ○主が理工系(5校)

東三河(豊橋技術科学大学、愛知工科大学)、遠州(静岡大学工学部・情報学部、静岡理工科大学、光産業創成大学院大学)

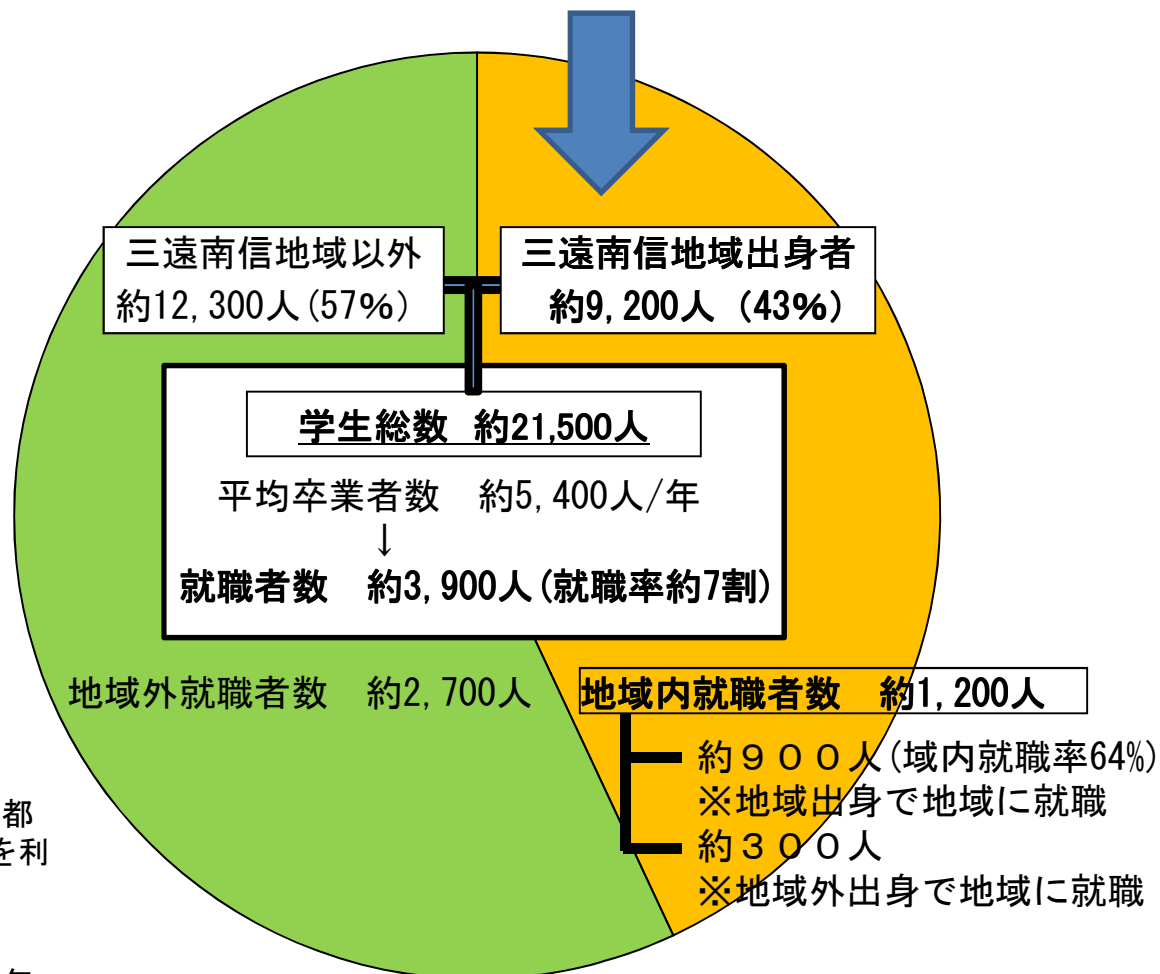
##### ○主が医療・看護・福祉系(6校)

東三河(豊橋創造大学)、遠州(浜松医科大学、聖隷クリストファー大学、浜松大学、東京女子医科大学)、南信州(長野県看護大学)

##### ○主が文系・デザイン系・経営系(5校)

東三河(愛知大学)、遠州(静岡文化芸術大学、浜松学院大学、静岡産業大学)、南信州(飯田女子短期大学)

三遠南信地域の定住人口から推計される潜在的な学生数は約12,600人であり、そのうち**三遠南信地域内の大学に進学する割合は2割**(約2,400人/年)であり、**約8割は地域外に進学**。(\*1)



\*1: H22年国勢調査の16～18歳人口を基本とし、都道府県別・男女別進学率(H24.3学校基本調査)を利用して推計

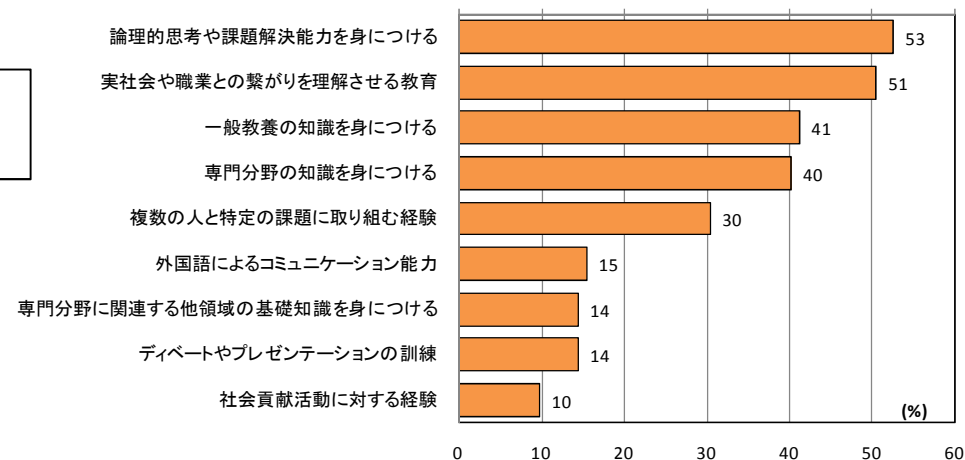
\*2: 調査年次: 平成23年5月1日現在

・調査実施時期: 平成23年12月～平成24年2月上旬

※東京女子医科大学、長野県看護大学を除く

## 4. 地域企業の大学教育への期待

- ①論理的思考や課題解決能力を身につける(52%)  
②実社会や職業との繋がりを理解させる教育(51%)



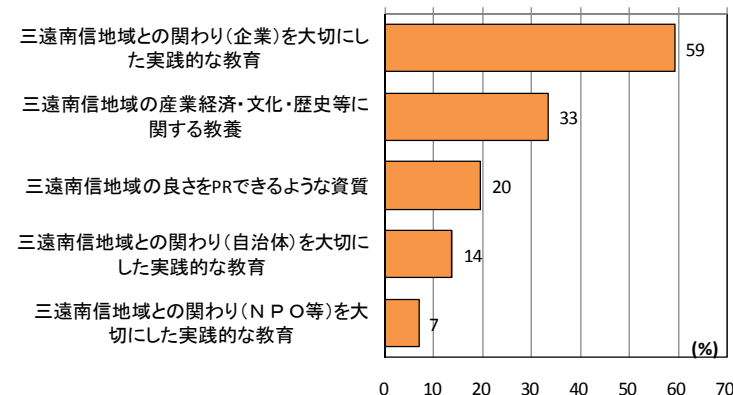
### 業種別の状況(有効回答数204)

※上位3つの選択肢に着色(同率も含む)

	全体	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	宿泊・飲食業	医療・福祉	サービス業
有効回答数	204	11	52	7	7	12	13	6	9	18	13	18
論理的思考や課題解決能力を身につける	53%	55%	65%	57%	71%	50%	62%	100%	56%	33%	46%	39%
実社会や職業との繋がりを理解させる教育	51%	64%	46%	57%	29%	83%	31%	50%	44%	61%	46%	50%
一般教養の知識を身につける	41%	18%	23%	29%	29%	50%	69%	67%	78%	50%	38%	61%
専門分野の知識を身につける	40%	45%	46%	57%	57%	8%	23%	33%	33%	28%	62%	39%
複数の人と特定の課題に取り組む経験	30%	36%	38%	29%	43%	33%	46%	33%	22%	22%	23%	28%
外国語によるコミュニケーション能力	15%	0%	21%	0%	57%	8%	8%	0%	0%	17%	8%	22%
専門分野に関連する他領域の基礎知識を身につける	14%	9%	13%	14%	0%	0%	8%	17%	0%	17%	23%	17%
ディベートやプレゼンテーションの訓練	14%	18%	15%	0%	0%	8%	15%	67%	33%	11%	15%	6%
社会貢献活動に対する経験	10%	0%	4%	29%	0%	25%	8%	0%	33%	17%	8%	11%

# 5. 地域企業の地域大学への期待

- ①三遠南信地域との関わり(企業)を大切にしたい実践的な教育(59%)  
 ②三遠南信地域の産業経済・文化・歴史等に関する教養(33%)

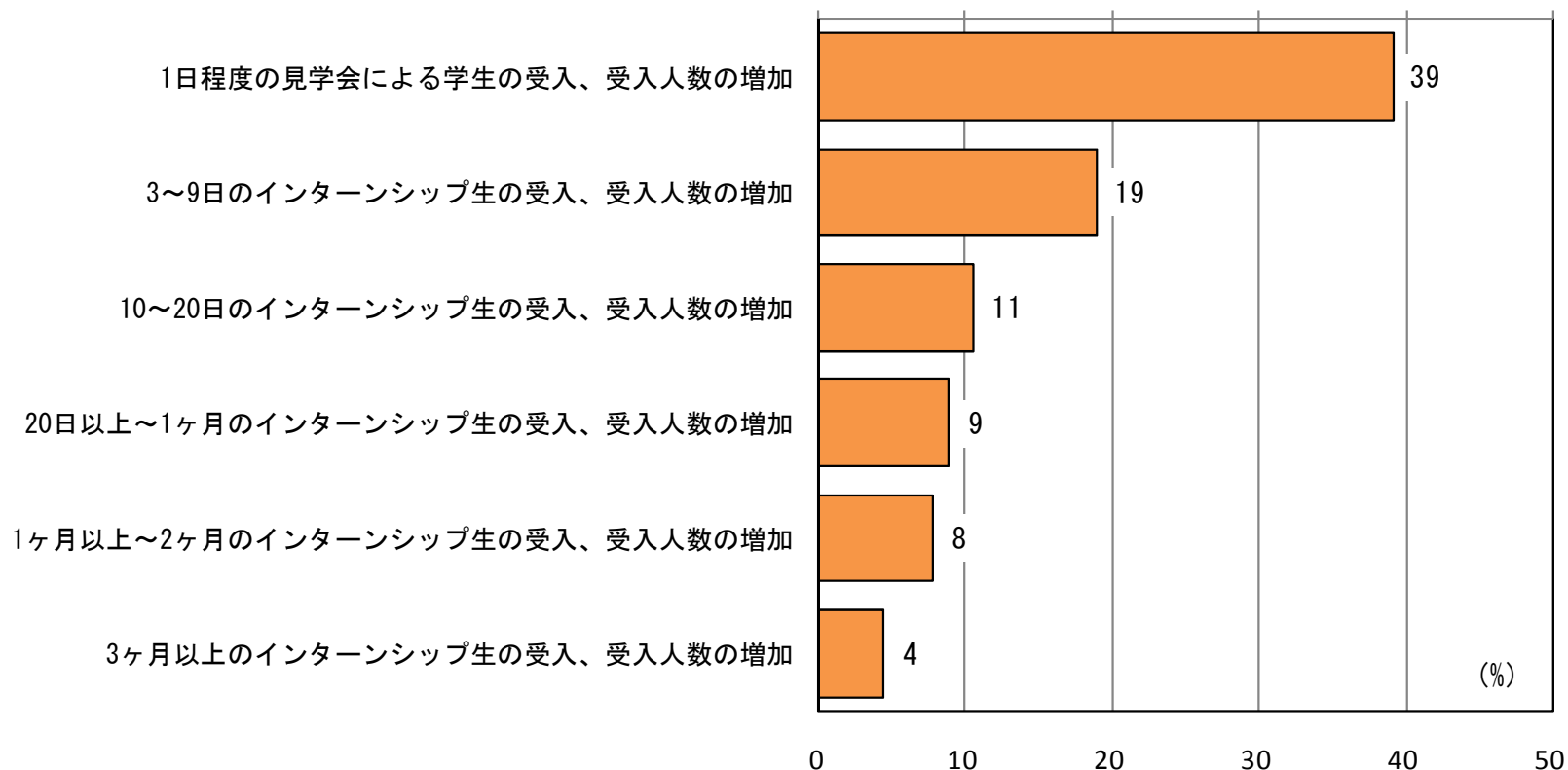


■業種別の状況(有効回答数199)  
 ※上位3つの選択肢に着色(同率も含む)

	全体	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	宿泊・飲食業	医療・福祉	サービス業
有効回答数	199	11	50	7	7	12	12	6	7	18	13	18
三遠南信地域との関わり(企業)を大切にしたい実践的な教育	59%	64%	66%	57%	29%	67%	67%	50%	71%	67%	69%	56%
三遠南信地域の産業経済・文化・歴史等に関する教養	33%	45%	20%	0%	29%	50%	42%	50%	43%	67%	31%	33%
三遠南信地域の良さをPRできるような資質	20%	0%	10%	14%	14%	25%	17%	17%	14%	44%	15%	22%
三遠南信地域との関わり(自治体)を大切にしたい実践的な教育	14%	18%	6%	14%	0%	33%	8%	17%	29%	11%	15%	28%
三遠南信地域との関わり(NPO等)を大切にしたい実践的な教育	7%	9%	2%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	15%	17%

## 6. 地域企業のインターンシップへの協力可能性

・視察会を含めた短期間のインターンシップの受入協力が高いものの、1か月を超えるインターンシップの受入についても協力できる企業がある。



※有効回答数179

地域企業アンケート調査実施期間：平成25年1月10日～平成25年1月25日

## 参 考 資 料



# ①大学・経済界との人財開発セミナーの実施

地域企業が求めている人材（企業の人事担当者）と、大学側の人財育成の状況（大学の就職担当者）を踏まえ、地域としてどのような人財開発が必要であるのかについての情報交換の実施

(1) 第1回 平成24年11月30日 場所：豊橋市総合体育館 研修室※東三河ものづくりフェア会場

①講演：「企業・地域・教育機関が連携した人財育成」講師：ヒューマンリソシア(株) 笹尾 裕子 氏

②情報交流会

- ・参加企業9社、三遠南信地域の6大学（豊橋技術科学大学、愛知工科大学、愛知大学、静岡理工科大学、静岡文化芸術大学、浜松大学）、域外の3大学、域内の2高校

(2) 第2回 平成25年1月25日 場所：アクトシティ浜松 研修交流センター会議室

①講演：「企業・地域・教育機関が連携した人財育成」講師：テムスト(株) 森 哲也氏

②情報交流会

- ・参加企業5社、三遠南信地域の4大学（静岡文化芸術大学、静岡理工科大学、浜松学院大学、愛知工科大学）、域内の1大学校

(3) 主な意見等

①企業側

- ・元気で明るく、地域のために働きたいという思いを持った人材を希望しているが、企業に対するイメージがないまま就職してくる学生もあり、数年で離職する。離職率の高まりは、人材育成コストの上昇を招くため、採用者の性格・特性等を考慮し、社内で活かせるよう再教育を行っている。
- ・インターンシップの学生をどのように対応していくべきかわからない。

②大学側

- ・企業HPだけでは企業イメージが掴めないため、工場見学・インターンシップを通し、企業の認知度を高めたいが十分ではない。インターンシップの受入企業が見つけづらい。



第1回の模様



第2回の模様

## ②パイロットプログラムの実施

大学生自らが「地域のことを知り・地域に関心を持つ機会」、「地域密着型ビジネス(社会的企業)を考える機会」を提供し、地域とのコミュニケーションツールを開拓しながら、地域課題の抽出、課題に対応したビジネスの検討に関するパイロットプログラムを実施した。

### (1) 参加者・実施日

- ①遠州地域 浜松学院大学等の学生(11人) 実施日: 11/28、12/8、12/19
- ②東三河地域 豊橋創造大学の学生(12人) 実施日: 10/20、11/10、12/15

### (2) 内容

- 第1回 座学・ワークショップ 三遠南信地域の実情、地域課題の発掘
- 第2回 フィールドワーク 遠州: コスモグリーン庭好(農業再生)  
東三河: ゆずりは学園(不登校・引きこもり支援)
- 第3回 座学・ワークショップ 地域課題に対応した起業検討



ワークショップ 模様(豊橋創造大学)



フィールドワーク(ゆずりは学園)



ワークショップ 模様(浜松学院大学)



フィールドワーク(コスモグリーン庭好)

### (3) 効果

- ・ワークショップを始めて体験する学生が殆どであり、60歳過ぎの学生、外国人留学生も参加していたが、意見交換に支障は感じられなかった。
- ・一般的に報道されている情報(限界集落、商店街衰退等)は、よく知っているが、住んでいる地域の実情は、地元出身の学生でも理解されていない。
- ・ワークショップよりもフィールドワークにおいて、積極性が感じられ、実践的な現場学習への関心が高い。

### ③三遠南信地域社会雇用創造事業（内閣府）の実施

#### (1)社会的企業人材創出・インターンシップ事業

・地域のNPO等への30日間のインターンシップ研修で人材を創出。三遠南信地域で1070名を研修。

#### ■インターンシップ事業の活動一分野別研修修了者数

分野	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	合 計
自然資源	38 (31.9)	85 (31.6)	92 (32.1)	84 (24.2)	53 (19.9)	63 (22.7)	415 (26.5)
地域づくり	59 (49.6)	104 (38.7)	114 (39.7)	186 (53.6)	138 (51.9)	125 (45.1)	726 (46.4)
安心安全	22 (18.5)	80 (29.7)	81 (28.2)	77 (22.2)	75 (28.2)	89 (32.1)	424 (27.1)
合計	93	153	198	224	193	209	1,070

※分野重複。( )は構成比(%)



おひさま進歩エネルギー株式会社  
自然エネルギーを活用したコミュニティビジネス



NPO法人 穂の国森づくりの会  
森の環境診断人養成講座



NPO法人 三遠南信アミ  
地域資源活用社会起業家養成

#### (2)社会起業インキュベーション事業

・一人300万円を上限に社会起業家のスタートアップを支援。三遠南信地域で78名の起業家を輩出。

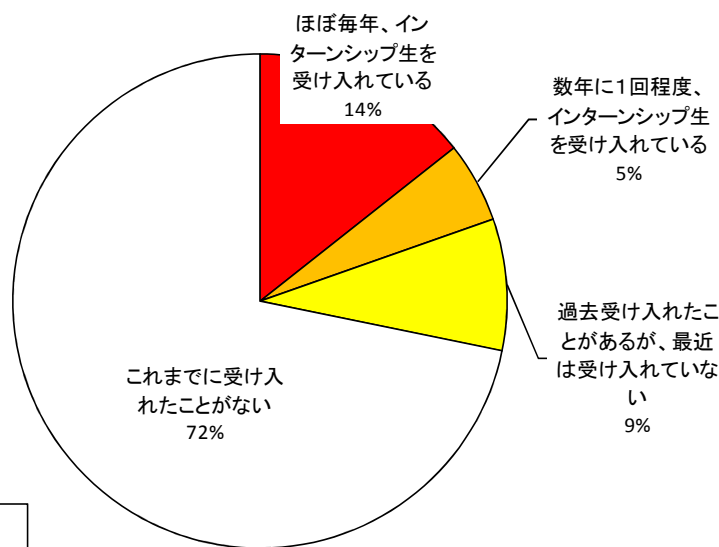
#### ■インキュベーション事業の実績－起業家78名の地域別状況（平成24年3月7日時点） （件数・%）

		遠州地域		東三河地域		南信州地域		3地域合計	
起業家分野別	自然資源を活用した雇用創造分野	7	23	6	16	5	56	18	23
	地域づくりによる雇用創造分野	11	37	13	33	2	22	26	33
	安心安全を確保するための雇用創造分野	12	40	20	51	2	22	34	44
	合 計	30	100	39	100	9	100	78	100

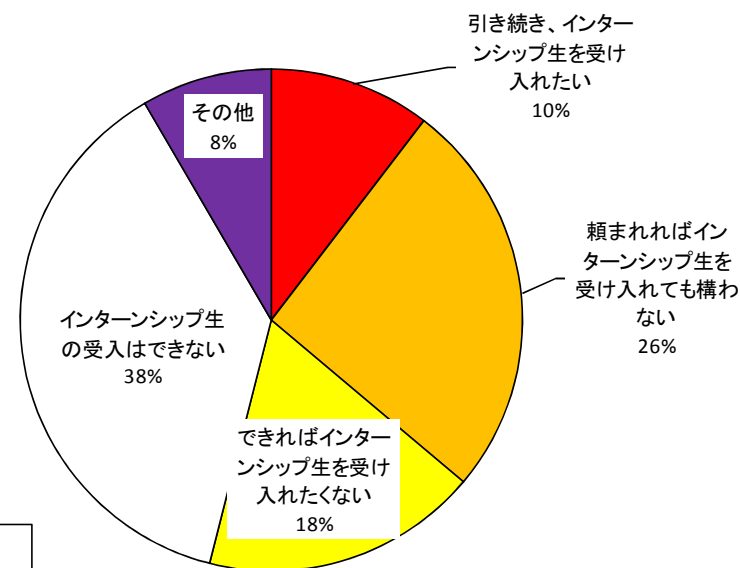
## ④地域企業のインターンシップの受入について

・インターンシップについて、「概ね毎年」（14%）、「数年に1回程度受け入れている企業」（5%）は約19%（約2割）である。特に三遠南信地域の大学生のインターンシップの受入については、引き続き受け入れたい(10%)、頼まれれば受け入れても良い(26%)を含めると全体の36%が肯定的である。

インターンシップの受入状況



三遠南信地域の大学生のインターンシップの受入について





# ⑤三遠南信地域の大学における インターンシップの実施状況

※有効回答数8校(1月30日時点)

1. 現在におけるインターンシップの取組大学数 8校／9校の回答中(1校は実施していない)
2. インターンシップの実施学年
  - 大学1年生(短大1年) (1)校
  - 大学2年生(短大2年) 4校
  - 大学3年生 7校
  - 大学4年生 4校
  - 大学院生 2校
3. インターンシップのカリキュラム化
  - ①単位認定している 7校
  - ②授業の一環で実施し単位認定していない 0校
  - ③授業の一環でなく学生の自主参加 1校
4. インターンシップの実施時期
  - 4～7月 0校
  - 8～9月 8校
  - 10～1月 1校
  - 2～3月 1校
  - その他(1～2回) 1校
5. インターンシップの期間
  - 1週間以内 0校
  - 2週間程度 7校
  - 3週間程度 0校
  - 1ヶ月 0校
  - 1～2ヶ月 1校
  - 2～3ヶ月 1校
  - 特段期間の規定なし 1校
6. インターンシップの目的
7. 派遣学生数

	回答校数
① 学生の就職先決定の支援	4
② 学生のキャリア開発、就職意識啓発	7
③ 学生の就職先の開拓、確保	1
④ 学生の就職後のミスマッチの解消	5
⑤ 企業とのパイプ作り	0
⑥ 大学のPR	0
⑦ 企業や就職先の情報収集	1
⑧ 産学連携(研究や開発)の一環	1
⑨ その他(技術者養成のための現場での実務体験)	1

	派遣学生数	うち、三遠南信地域内への派遣学生	
大学院生	59	4	7%
大学4年	492	83	17%
大学3年	206	102	50%
大学2年	21	20	95%
大学1年	0	0	0%
短大2年	0	0	0%
短大1年	6	6	100%
合計	784	215	27%

大学アンケート調査実施期間：平成25年1月17日～平成25年1月30日